

保育所版自己評価シート【内容評価基準】

A-1 保育内容

(1) 全体的な計画の作成		評価結果	評価の着眼点(該当する場合は□にチェック)		
① 保育所の理念、保育の方針や目標に基づき、子どもの心身の発達や家庭及び地域の実態に応じて全体的な計画を作成している。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	全体的な計画は、児童憲章、児童の権利に関する条約、児童福祉法、保育所保育指針などの趣旨をとらえて作成している。	
判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	全体的な計画は、保育所の理念、保育の方針や目標に基づいて作成している。	
保育・教育課程は保育理念、基本方針、目標に基づいて編成されている。子どもの発達過程や保育時間、地域の実態などを考慮し、保育に関わる職員の参画のもとで編成されている。年度末に評価をし、次年度に向けた見直しを行っている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	全体的な計画は、子どもの発達過程、子どもと家庭の状況や保育時間、地域の実態などを考慮して作成している。	
		<input checked="" type="checkbox"/>	エ	全体的な計画は、保育に関わる職員が参画して作成している。	
		<input checked="" type="checkbox"/>	オ	全体的な計画は、定期的に評価を行い、次の作成に生かしている。	
(2) 環境を通して行う保育、養護と教育の一体的展開		評価結果	評価の着眼点(該当する場合は□にチェック)		
① 生活にふさわしい場として、子どもが心地よく過ごすことのできる環境を整備している。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	室内の温度、湿度、換気、採光、音などの環境は、常に適切な状態に保持している。	
判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	保育所内外の設備・用具や寝具の衛生管理に努めている。	
改築時に保育士の意見も取り入れ、安全、清潔、落ち着いて、ゆったりと過ごせる空間となっている。杉の木をふんだんに使い、暖かな雰囲気を醸し出している。2歳以上児の手洗いは自動水栓となり衛生面にも配慮している。おやつ、給食はランチルームで摂っている。すべての扉は手指を挟まないように工夫されている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	家具や遊具の素材・配置等の工夫をしている。	
		<input checked="" type="checkbox"/>	エ	一人ひとりの子どもが、くつろいだり、落ち着ける場所がある。	
		<input checked="" type="checkbox"/>	オ	食事や睡眠のための心地よい生活空間を確保している。	
		<input checked="" type="checkbox"/>	カ	手洗い場・トイレは、明るく清潔で、子どもが利用しやすい設備を整え、安全への工夫をしている。	
② 一人ひとりの子どもを受容し、子どもの状態に応じた保育を行っている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	子どもの発達と発達過程、家庭環境等から生じる一人ひとりの子どもの個人差を十分に把握し、尊重している。	
判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	子どもが安心して自分の気持ちを表現できるように配慮し、対応している。	
一人一人の子どもを受容し、子どもが理解できる言葉や、話し方を工夫している。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	自分を表現する力が十分でない子どもの気持ちをくみとろうとしている。	
		<input checked="" type="checkbox"/>	エ	子どもの欲求を受けとめ、子どもの気持ちにそって適切に対応している。	
		<input checked="" type="checkbox"/>	オ	子どもに分かりやすい言葉づかいで、おだやかに話している。	
		<input checked="" type="checkbox"/>	カ	せかず言葉や制止する言葉を不必要に用いないようにしている。	
③ 子どもが基本的な生活習慣を身につけることができる環境の整備、援助を行っている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	一人ひとりの子どもの発達に合わせて、生活に必要な基本的な生活習慣を身につけられるよう配慮している。	
判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	基本的な生活習慣の習得にあたっては、子どもが自分でやろうとする気持ちを尊重して援助を行っている。	
子どもが基本的な生活習慣を身につけられるように工夫し、保育を行っている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	基本的な生活習慣の習得にあたっては、強制することなく、一人ひとりの子どもの主体性を尊重している。	
		<input checked="" type="checkbox"/>	エ	一人ひとりの子どもの状態に応じて、活動と休息のバランスを保つように工夫している。	
		<input checked="" type="checkbox"/>	オ	基本的な生活習慣を身につけることの大切さについて、子どもが理解できるように働きかけている。	

④ 子どもが主体的に活動できる環境を整備し、子どもの生活と遊びを豊かにする保育を展開している。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	子どもが自主的・自発的に生活と遊びができる環境を整備している。
判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	子どもが自発性を発揮できるよう援助している。
子どもの主体性を最大限尊重し、自分で選択し、責任を持ち、みんなでルールを決めて協調性を持って遊ぶ。おやつ、給食は食べる時間を自分で決めている。午睡をするかも自己決定している。環境を整えることはするが、活動を制限したり、強制したりはしない。園外保育も多種多様にわたり、子どもたちが楽しみにしている。行事も、子どもたちと保育士の意見をたくさん取り入れ、新幹線の旅やお泊り保育も毎年同じような行事ではなく、子どもと担任保育士のカラーが取り入れられるように工夫している。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	遊びの中で、進んで身体を動かすことができるよう援助している。
	<input checked="" type="checkbox"/>	エ	戸外で遊ぶ時間や環境を確保している。	
	<input checked="" type="checkbox"/>	オ	生活と遊びを通して、友だちなどと人間関係が育まれるよう援助している。	
	<input checked="" type="checkbox"/>	カ	子どもたちが友だちと協同して活動できるよう援助している。	
	<input checked="" type="checkbox"/>	キ	社会的ルールや態度を身につけていくよう配慮している。	
	<input checked="" type="checkbox"/>	ク	身近な自然とふれあうことができるよう工夫している。	
	<input checked="" type="checkbox"/>	ケ	地域の人たちに接する機会、社会体験を得る機会を設けている。	
	<input checked="" type="checkbox"/>	コ	様々な表現活動が自由に体験できるよう工夫している。	
⑤ 乳児保育(0歳児)において、養護と教育が一体的に展開できるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	0歳児が、長時間過ごすことに適した生活と遊び及び環境への工夫をしている。
判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	0歳児が、安心して、保育士等と愛着関係(情緒の安定)が持てるよう配慮している。
一人一人の生活リズムに合わせて、生活リズムを整え、それぞれの発達に応じて遊びを展開できるように配慮している。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	子どもの表情を大切にし、応答的な関わりをしている。
	<input checked="" type="checkbox"/>	エ	0歳児が、興味と関心を持つことができる生活と遊びへの配慮している。	
	<input checked="" type="checkbox"/>	オ	0歳児の発達過程に応じて、必要な保育を行っている。	
	<input checked="" type="checkbox"/>	カ	0歳児の生活と遊びに配慮し、家庭との連携を密にしている。	
⑥ 3歳未満児(1・2歳児)の保育において、養護と教育が一体的に展開できるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	一人ひとりの子どもの状況に応じ、子どもが自分でしようとする気持ちを尊重している。
判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	探索活動が十分に行えるような環境を整備している。
子どもの主体性を大切にし、常に環境の見直しを行っている。「自分で」を大事にし、やってみようとする気持ちを受け止め見守っている。保育士の声掛けは、雑音にならないように優しく応答的な関わりをしている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	子どもが安心して遊びを中心とした自発的な活動ができるよう、保育士等が関わっている。
	<input checked="" type="checkbox"/>	エ	子どもの自我の育ちを受け止め、保育士等が適切な関わりをしている。	
	<input checked="" type="checkbox"/>	オ	保育士等が、友だちとの関わりの中立ちをしている。	
	<input checked="" type="checkbox"/>	カ	様々な年齢の子どもや、保育士以外の大人との関わりを図っている。	
	<input checked="" type="checkbox"/>	キ	一人ひとりの子どもの状況に応じ、家庭と連携した取組や配慮をしている。	
⑦ 3歳以上児の保育において、養護と教育が一体的に展開できるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	3歳児の保育に関して、集団の中で安定しながら、遊びを中心とした興味関心のある活動に取り組めるような環境を整え、保育士等が適切に関わっている。
判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	4歳児の保育に関して、集団の中で自分の力を発揮しながら、友だちとともに楽しみながら遊びや活動に取り組めるような環境を整え、保育士等が適切に関わっている。
縦割りに保育の中で、それぞれの年齢の発達を把握し関わっている。主体性を大切にし、常に環境について話し合い、子どもたちが安心して好きな遊びを楽しめるように工夫している。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	5歳児の保育に関して、集団の中で一人ひとりの子どもの個性が活かされ、友だちと協力して一つのことをやり遂げるといった遊びや活動に取り組めるような環境を整え、保育士等が適切に関わっている。
	<input checked="" type="checkbox"/>	エ	子どもの育ちや取り組んできた協同的な活動等について、保護者や地域・就学先の小学校等に伝える工夫や配慮している。	

⑧ 障がいのある子どもが安心して生活できる環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	建物・設備など、障がいに応じた環境整備に配慮している。
判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	障がいのある子どもの状況に配慮した個別の指導計画を作成し、クラス等の指導計画と関連づけている。
建物はバリアフリー化されている。障害のある子には加配保育士が付き、個別の支援を行っている。専門機関に保育士が出向き支援の方法を実際に学ぶなど連携を密にアドバイスを受けている。保護者とも連携を密にすることで、情報の共有化を図り、園と家庭がともに同じ方法で関わられるように配慮している。市のカウンセラー事業を受け、具体的なアドバイスを受けている。希望の保護者とはカウンセラー、主任、担任との面談で、情報の共有化を図るとともに、今後の保育の仕方などのアドバイスを頂く機会も持っている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	計画に基づき、子どもの状況と成長に応じた保育を行っている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	エ	子ども同士の関わりに配慮し、共に成長できるようにしている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	オ	保護者との連携を密にして、保育所での生活に配慮している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	カ	必要に応じて、医療機関や専門機関から相談や助言を受けている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	キ	職員は、障がいのある子どもの保育について研修等により必要な知識や情報を得ている。
		<input type="checkbox"/>	ク	保育所の保護者に、障がいのある子どもの保育に関する適切な情報を伝えるための取組を行っている。
⑨ それぞれの子どもの在園時間を考慮した環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	1日の生活を見通して、その連続性に配慮し、子ども主体の計画性をもった取組となっている。
判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	家庭的でゆったりと過ごすことができる環境を整えている。
延長保育計画を策定し、異年齢の合同保育を実施している。延長保育を利用する子どもたちに、遊びに応じて環境を配慮したり、ゆったりと出来る環境も整えている。おやつを提供している。伝達ノートを準備して、伝達漏れがないように配慮している。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	子どもの状況に応じて、おだやかに過ごせるよう配慮している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	エ	年齢の異なる子どもと一緒に過ごすことに配慮している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	オ	子どもの在園時間や生活リズムに配慮した食事・おやつ等の提供を行っている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	カ	子どもの状況について、保育士間の引継ぎを適切に行っている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	キ	担当の保育士と保護者との連携が十分にとれるように配慮している。
⑩ 小学校との連携、就学を見通した計画に基づく、保育の内容や方法、保護者との関わりに配慮している。	b	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	計画の中に小学校との連携や就学に関連する事項を記載し、それに基づいた保育を行っている。
判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	子どもが、小学校以降の生活について見通しを持てる機会を設けている。
小学校との連携はしているが、まだまだ足りないと感じている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	保護者が、小学校以降の子ども生活について見通しが持てる機会を設けている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	エ	保育士等と小学校教員との意見交換、合同研修を行うなど、就学に向けた小学校との連携を図っている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	オ	施設長の責任のもとに関係する職員が参画し、保育所児童保育要録を作成している。
(3) 健康管理	評価結果	評価の着眼点(該当する場合は口にチェック)		
① 子どもの健康管理を適切に行っている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	子どもの健康管理に関するマニュアルがあり、それに基づき一人ひとりの子どもの心身の健康状態を把握している。
判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	子どもの体調悪化・けがなどについては、保護者に伝えとともに、事後の確認をしている。
看護師2人を配置している。保健マニュアル、感染症マニュアルを作成し、子どもの健康管理をしている。アレルギー等の個々の情報も、職員との情報共有が出来ている。保護者への情報発信も出来ている。病児保育(体調不良児対応型)も適切に運営出来ている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	子どもの保健に関する計画を作成している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	エ	一人ひとりの子どもの健康状態に関する情報を、関係職員に周知・共有している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	オ	既往症や予防接種の状況など、保護者から子どもの健康に関わる必要な情報を常に得られるように努めている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	カ	保護者に対し、保育所の子ども健康に関する方針や取組を伝えている。

		<input checked="" type="checkbox"/>	キ	職員に乳幼児突然死症候群(SIDS)に関する知識を周知し、必要な取組を行っている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	ク	保護者に対し、乳幼児突然死症候群(SIDS)に関する必要な情報提供をしている。
② 健康診断・歯科健診の結果を保育に反映している。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	健康診断・歯科健診の結果を記録し、関係職員に周知している。
判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	健康診断・歯科健診の結果を保健に関する計画等に反映し、保育を行っている。
健診結果を踏まえ保育に反映させている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	家庭での生活に生かされ、保育に有効に反映するよう、健康診断・歯科健診の結果を保護者に伝えている。
③ アレルギー疾患、慢性疾患等のある子どもについて、医師からの指示を受け適切な対応を行っている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	アレルギー疾患のある子どもに対して、「保育所におけるアレルギー対応ガイドライン」をもとに、子どもの状況に応じた適切な対応を行っている。
判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	慢性疾患等のある子どもに対して、医師の指示のもと、子どもの状況に応じた適切な対応を行っている。
除去食については医師の診断結果をもとに、保護者からの除去依頼書にて対応している。献立は給食担当者、担任、短時間保育士で確認し保護者に配布している。定期的に医師の診断を仰ぎながら、解除になったものから家庭と連携して献立に取り入れるようにしている。・除去食については個別の名前の入ったケースにて各クラスへ配膳されることで、誤食の防止に努めている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	保護者との連携を密にして、保育所での生活に配慮している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	エ	食事の提供等において、他の子どもたちとの相違に配慮している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	オ	職員は、アレルギー疾患、慢性疾患等について研修等により必要な知識・情報を得たり、技術を習得している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	カ	他の子どもや保護者にアレルギー疾患、慢性疾患等についての理解を図るための取組を行っている。
(4) 食事	評価結果	評価の着眼点(該当する場合は口にチェック)		
① 食事を楽しむことができるよう工夫をしている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	食に関する豊かな経験ができるよう、保育の計画に位置づけ取組を行っている。
判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	子どもが楽しく、落ち着いて食事をとれる環境・雰囲気づくりの工夫をしている。
毎日の給食、おやつは手作りを重視し、栄養のバランスや旬の食材を考慮して提供している。椅子の配置やランチルームの環境にも配慮し、楽しく食事を摂れるよう配慮している。自分で決めたタイミングで給食を食べることも、子どもたちの食べる意欲に繋がっている。行事食は栄養士と保育士がアイデアを出し、目で見ても楽しくなるメニューになっている。自分達で育てた食材を、給食を通じて食すことで、食材を大切にすること、栄養素への関心も持てるようになった。また、栽培して下さる方への感謝、調理してくれる人への感謝の気持ちも芽生えてきた。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	子どもの発達に合わせた食事の援助を適切に行っている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	エ	食器の材質や形などに配慮している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	オ	個人差や食欲に応じて、量を加減できるように工夫している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	カ	食べたいもの、食べられるものが少しでも多くなるよう援助している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	キ	子どもが、食について関心を深めるための取組を行っている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	ク	子どもの食生活や食育に関する取組について、家庭と連携している。
② 子どもがおいしく安心して食べることのできる食事を提供している。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	一人ひとりの子どもの発育状況や体調等を考慮した、献立・調理の工夫をしている。
判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	子どもの食べる量や好き嫌いなどを把握している。
栄養士が食育指導として、食材について説明する機会を設けている。献立は毎月食育会議を実施して作成している。給食マニュアルを作成し、衛生管理体制が整っている。食べる量を把握すると共に、子ども自ら量を選んで、食べられるように環境を整えている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	残食の調査記録や検食簿をまとめ、献立・調理の工夫に反映している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	エ	季節感のある献立となるよう配慮している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	オ	地域の食文化や行事食などを取り入れている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	カ	調理員・栄養士等が、食事の様子を見たり、子どもたちの話を聞いたりする機会を設けている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	キ	衛生管理体制を確立し、マニュアルにもとづき衛生管理を適切に行っている。

A-2 子育て支援

(1) 家庭との緊密な連携		評価結果	評価の着眼点 (該当する場合は□にチェック)		
① 子どもの生活を充実させるために、家庭との連携を行っている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	連絡帳等により家庭との日常的な情報交換を行っている。	
判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	保育の意図や保育内容について、保護者の理解を得る機会を設けている。	
連絡帳やポートフォリオ、ドキュメンテーション、ホームページのブログで、毎日の様子をお伝えしている。短い時間でもお迎えの時間には、積極的に保護者と子どもの様子を共有する時間を作るよう努めている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	様々な機会を活用して、保護者と子どもの成長を共有できるよう支援をしている。	
		<input checked="" type="checkbox"/>	エ	家庭の状況、保護者との情報交換の内容を必要に応じて記録している。	
(2) 保護者等の支援		評価結果	評価の着眼点 (該当する場合は□にチェック)		
① 保護者が安心して子育てができるよう支援を行っている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	日々のコミュニケーションにより、保護者との信頼関係を築くよう取組を行っている。	
判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	保護者等からの相談に応じる体制がある。	
全園児を全職員で保育するというコンセプトで、職員一人一人が、どの子どもの保護者に、何を聞かれても受け答えが出来るように努めている。明るく、笑顔で保護者と関わることは、社会人としても基本である。保護者からの相談には、職員全員が窓口となり、主任を中心に組織として体制が整えられている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	保護者の就労等の個々の事情に配慮して、相談に応じられるよう取組を行っている。	
		<input checked="" type="checkbox"/>	エ	保育所の特性を生かした保護者への支援を行っている。	
		<input checked="" type="checkbox"/>	オ	相談内容を適切に記録している。	
		<input checked="" type="checkbox"/>	カ	相談を受けた保育士等が適切に対応できるよう、助言が受けられる体制を整えている。	
② 家庭での虐待等権利侵害の疑いのある子どもの早期発見・早期対応及び虐待の予防に努めている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	虐待等権利侵害の兆候を見逃さないように、子どもの心身の状態、家庭での養育の状況について把握に努めている。	
判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	虐待等権利侵害の可能性があると職員が感じた場合は、速やかに保育所内で情報を共有し、対応を協議する体制がある。	
普段から保護者とコミュニケーションを図り、家庭状況を十分に把握するとともに、子育てに悩みを抱えている保護者にはアドバイス出来るようにするなど、虐待防止に努めている。園児においては着替えなどの裸になる際に、けが、あざ等がないかを意識して観察するようにしている。虐待が疑われるケースにおいては、詳しく日時、状況等記録をし市の子育て支援室児童相談所等と連携している。・虐待防止マニュアルを整備し、虐待時の対応が文書化されている。職員が虐待防止研修に参加している。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	虐待等権利侵害となる恐れがある場合には、予防的に保護者の精神面、生活面の援助をしている。	
		<input checked="" type="checkbox"/>	エ	職員に対して、虐待等権利侵害が疑われる子どもの状態や行動などをはじめ、虐待等権利侵害に関する理解を促すための取組を行っている。	
		<input checked="" type="checkbox"/>	オ	児童相談所等の関係機関との連携を図るための取組を行っている。	
		<input checked="" type="checkbox"/>	カ	虐待等権利侵害を発見した場合の対応等についてマニュアルを整備している。	
		<input checked="" type="checkbox"/>	キ	マニュアルにもとづく職員研修を実施している。	

A-3 保育の質の向上

(1) 保育実践の振り返り(保育士等の自己評価)	評価結果	評価の着眼点(該当する場合は口にチェック)		
① 保育士等が主体的に保育実践の振り返り(自己評価)を行い、保育実践の改善や専門性の向上に努めている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	保育士等が、記録や職員間の話し合い等を通じて、主体的に自らの保育実践の振り返り(自己評価)を行っている。
判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	自己評価にあたっては、子どもの活動やその結果だけでなく、子どもの心の育ち、意欲や取り組む過程に配慮している。
毎月、自己評価を行い、保育の振り返りの機会を設けている。振り返ることで良い点、悪かった点が見えてくる。また、複数担任の場合は同じクラスの保育士の自己評価を、以上児の場合はそれぞれのクラスの自己評価を、お互いに見ることによって同僚性が向上して来ている。お互いの保育、子ども、同僚に対する考え方が理解出来るようになってきたと思う。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	保育士等の自己評価を、定期的に行っている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	エ	保育士等の自己評価が、互いの学び合いや意識の向上につながっている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	オ	保育士等の自己評価にもとづき、保育の改善や専門性の向上に取り組んでいる。
		<input checked="" type="checkbox"/>	カ	保育士等の自己評価を、保育所全体の保育実践の自己評価につなげている。